

■ グループ紹介

ゼネラル石油(株)営業本部研究開発部

当社は石油元売りとして、常に優れた品質の製品とサービスを効率よく安定的にかつ継続して提供できるよう絶えず商品の開発と改善に努め需要家のニーズに答えております。研究開発の分野では、米国のメジャーであるエクソンと“一般研究契約”を結び、エクソンの基礎、応用研究の膨大な成果の提供を得て、効率のよい実即的な製品化研究を行っています。

1. 研究開発部の概要

当社の研究開発部は、「販売している商品の品質は、顧客のニーズを的確にとらえることから始まる。」と考え営業本部に所属しており、新橋本店内の2課と川崎製油所構内の中央商品研究所からなっております。当部の人員は約50名で比較的少ない人数で構成されています。少人数で効率的な研究開発が行えるのも先に述べましたエクソンとの間の一般研究契約がある為です。本店内の2課では技術動向調査、研究開発計画の立案および調整、品質管理、販売員訓練および販売技術資料の作成等を行っております。中央商品研究所では燃料油および潤滑油の開発改良研究、試験や分析法の確立および各種サービス試験を主な職務としております。

2. 最近の主な活動

(1) 将来の燃料油の開発

原油の重質化と白油の収率向上の必要性の増大に伴い、分解設備からの分解生成物を有効利用し需要動向に的確に対応していくことが石油の効率的利用のために重要になってきております。当社でも'84年末の分解設備完成に向けて、これらの課題に取り組むと共に将来の燃料油の研究についても積極的に取り組んでいます。

(2) ハードウェアの発展に適合した石油製品の開発

乗用車、トラックおよび各種建設機械等のハードウェアは、小型高性能化、省燃費化、排気騒音対策等その技術革新は日進月歩です。これらハードウェアの発展に伴い潤滑油や燃料に対する要求が年々変化しております。これらの要求に適合するように、エクソンの日本車ハードウェア評価への協力も含め、市場動向を注視し常に石油製品の開発改良を進めております。



写 中央商品研究所

(3) 省エネルギー型潤滑油の開発

省エネルギー型エンジン油が開発されて以来、潤滑油に対する省エネルギーの要求が強くなってきました。省エネルギーに貢献するために高粘度指数の潤滑油、低粘度の潤滑油の採用等が行われております。私共はさらに一歩進んだ省エネ型の潤滑油の研究を行っております。

(4) エンジン室の効率化

エンジン油を開発する場合、実用性能を確認するためにエンジン試験を行います。エンジン試験の効率化を計るため、コンピューターを駆使した最新の設備に改め、効率の良いエンジン試験が可能になる様、設備改善の実施案作成中です。

(5) その他

以上申し上げました活動の他に船舶用潤滑油の開発、改良、新しい分析機器の積極的導入を行っています。

おわりに

限りある資源を有効かつ効率よく使用するための研究開発はエネルギー供給者として永遠のテーマであり、今後もこの面を中心に研究開発活動を行って行く所存です。

なお、当研究所には各種分析機器を取揃えており、また先ほど述べましたエンジン室の効率化（補強、新設）も計画されております。これらの面で何かお役に立つことがありましたら、何なりと御相談下さい。

所在地：〒105 東京都港区西新橋 2-8-6

(文責：後藤敏明)